

**\* 第 1 赤道儀室 (8 インチ望遠鏡) 前の桜が咲いた**

アーカイブ室新聞番外号は久しぶりである。今日は 2009 年 10 月 7 日である。秋たけなわ、なのに 20cm 赤道儀望遠鏡ドーム西側のソメイヨシノの古木に花がついている。2 個や 3 個ではない、春のような咲き方ではないがずいぶんたくさんの花をつけている (写真 1)。桜の花の狂い咲きは珍しくないかもしれないが、自分の身の回りで起きればこれはびっくりである。



写真 1 20cm 赤道儀望遠鏡ドーム前の秋の桜

珍しいので同室の人に声をかけて桜を楽しんだ。秋の桜は春の桜と違い寿命が長いようである。こんな事があって、10 月 4 日の日曜日に野川公園に出かけた際、ここには「10 月桜」というのが 10 本近くあって咲いていた。世の中には変り者がいるもので、「正月桜」というのもあるそうだが、20cm 赤道儀望遠鏡ドーム前で咲いているのは、れっきとした春に咲く「ソメイヨシノ」である。今年はさほど気候が不順だったとは思わないが、何が彼女(彼)を狂わせたのであろうか。この木は枝を何回も切られ、満身創痍に見える。枯れる前の狂い咲きでなければいいがと思ってしまう。

キャンパス委員会では、台長から天文台の桜並木の更新について考えろという宿題をも

らっている。筆者の知っている天文台の桜並木は若木であったが、そういえば筆者はすでに天文台 49 年生である。これらの桜も 60 年ほどの還暦を迎えた木々であろう。写真 2、写真 3 は野川公園の「10 月桜」である。



写真 2 野川公園の「10 月桜」



写真 3 野川公園の「ジュウガツザクラ」